

第24回 固定チームナーシング北陸地方会 演題募集のご案内

メインテーマ

「原点回帰と進化 ～今、改めて見つめ直す固定チームナーシングのカ～」

時下、看護師をはじめ、ケアに携わる皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、第24回固定チームナーシング北陸地方会を、石川県立中央病院が当番幹事として開催させていただき運びとなりました。

当院では平成元年の導入以来、長らく本方式を継続してまいりましたが、時代の変化とともに活動が形骸化するという大きな壁にぶつかりました。そこで令和4年度より「看護提供体制委員会」を組織し、現在、ゼロからの再構築に挑戦しています。

この「再構築」の過程で私たちが再確認したのは、固定チームナーシングが単なる管理ツールではなく、患者さんへの責任ある看護と、スタッフ一人ひとりの成長を支える「揺るぎない基盤」であるということです。

本地方会では、看護師・看護補助者・介護福祉士・介護士など、職種を問わず幅広い皆様から、完成された成果報告だけでなく、以下のような多岐にわたる演題を広く募集いたします。

- ・ 伝統の継承と、現代に合わせた運用の工夫
- ・ 形骸化を乗り越えるための新たな取り組みや試行錯誤
- ・ 小集団活動を通じた人材育成やリーダーシップの変化
- ・ 多職種連携や業務効率化におけるチームの役割

「まだ取り組みの途中だから」「目立った成果はこれからだから」と躊躇されている事例も、ぜひ積極的にお寄せください。その試行錯誤のプロセスこそが、同じ悩みを持つ北陸の仲間にとって、何よりのヒントになります。

看護師をはじめ、チームケアに関わるすべての皆様の熱意あふれる実践報告をお聞きし、活発な意見交換ができることを、スタッフ一同心より楽しみにしております。職種を超えた多様な視点からのご参加を、心よりお待ちしております。

令和8年3月吉日

第24回 固定チームナーシング北陸地方会 当番幹事 江藤真由美
(石川県立中央病院 看護部長)